

「 「 「 「  
「 「 「  
「 「  
「

♪ジョイコン NEWS ♪

第30号 2018年6月1日

先日の5周年記念特別演奏会は、お陰様で第1部、第2部とも満席で無事終了することができました。あらためて厚く御礼申し上げます。これからも新しいステージに向け地道にこの活動を続けて行くつもりです。引き続きよろしく願いいたします。

それでは、「♪ジョイコン NEWS ♪」(第30号)をお届け致します。

【もくじ】

- 【1】 次回コンサートのご案内
  - ◆第34回コンサート
- 【2】 今後の予定(先取り情報)
  - ◆第35回コンサート
  - ◆第36回コンサート
- 【3】 これが津軽三味線だ!
- 【4】 コンサートのアンケートから

【1】 次回コンサートのご案内

■■第34回コンサート■■

- ◇2018年7月15日(日曜日)  
14:00開演(13:30受付開始)
- ◇出演: 小山豊(津軽三味線)、齋藤純一(ギター: ゲスト出演)、  
小山会青年部(津軽三味線)
- ◇プログラム(予定)
  - ◆津軽じょんがら節
  - ◆民謡メドレー
  - ◆Karma \* (作曲 小山豊)
  - ◆El Sol \* (作曲 小山豊)
  - ◆こきりこ節
  - ◆津軽三味線 小山流合奏曲
  - ◆名曲のカバー \* 他  
\* 津軽三味線とギターによる演奏
- ◇料金: 大人・高校生 2,000円、中学生以下 1,000円
- ◇会場: 大倉山記念館ホール

第34回ジョイフルコンサートは『津軽三味線演奏会～古典から現代まで三味線の歴史をわかりやすく』と題して、お届けします。

\*\*\*\*\*

メッセージが届いています

\*\*\*\*\*

今回このような素敵な空間で演奏をさせていただき光栄です。  
津軽三味線の持つ迫力のある音や繊細な音色をおたのしみください!  
民謡という素晴らしい音楽を大切にしながら新たなチャレンジとして様々なエッセンスを取り入れた楽曲。  
温故知新的なコンサートをおたのしみください。  
(小山 豊)

\*\*\*\*\*

今回のジョイフルコンサートは初めての津軽三味線コンサートです。これまでのものとはかなり趣が違うとは思いますが、どんなコンサートになるのか私も本当に楽しみです。どうぞご期待ください。

#### ☆津軽じょんがら節

津軽三味線の伴奏と共に歌われる青森県の民謡「津軽よされ節」「津軽おはら節」に並ぶ津軽三大民謡の1つです。

「じょんがら」の意味、語源については、一説によると戦国時代に青森県の浅瀬石城下にあった寺の和尚・常椽（じょうえん）の名前に由来するそうです。

1597年津軽氏との同盟が破綻した千徳家の浅瀬石城は寝返った重臣も含めた敵の大軍に攻められ落城してしまいます。城下の寺も荒らされ、常椽和尚も狙われてしまいます。孤軍奮闘しますが、軍勢の武力には敵わず、東の山に追い詰められた常椽和尚は覚悟を決め、崖の頂上から浅瀬石川に飛び込んで命を絶ったそうです。

それから数年後、村の子供たちが浅瀬石川で砂遊びをしていた時に、偶然砂の中から亡骸を見つけ、大人達が確認するとそれが常椽和尚であることがわかりました。驚いた村人たちは急いで墓を作り、手厚く葬ったそうです。

常椽和尚の墓が建てられた川原の一带はのちに和尚の名前を取って「常椽川原」と名づけられました。毎年お盆の時期になると、供養と慰霊のために常椽川原に集まり盆踊りが行われるようになったそうです。

常椽川原の辺りに住む村人たちは滅ぼされた千徳家から他大名の支配下で厳しい農作業に従事せざるを得ない生活を強いられますが、かつて栄えた千徳家を偲び、物語を語る「口説節（くどき節）」として歴史を語り継いでいったそうです。これが「じょんがら節」の由来だそうです。

じょんがら節の代表的な歌詞を参考に載せます。

お国自慢のじょんがら節よ  
若い衆歌えば主の囃子  
娘踊れば稲穂も踊る

今宵おいでの皆さま方よ  
さあさこれからじょんがら節を  
歌いますよ お聞きをなされ

声はこの通り塩がら声で  
調子はずれのこの節廻し  
どこが良いやら男が惚れる

津軽よいとお山が高く  
水が綺麗で女がよくて  
声が自慢のじょんがら節よ

最初は常椽和尚供養の盆踊り歌が段々と歴史を語り、土地の風土や文化を語る歌になって行ったのでしょうか？  
ずっと口伝えに教えを代々引き継いでいった隠れキリシタンの人達のことを少し思い出しました。

賑やかですがでも悲しい背景もある曲ですね。(A.N)

#### ■ 予約申し込み

大変申し訳ありませんが、5月30日に満席となってしまいました。  
なお、「キャンセル待ち」は受付中です。

#### ◆ 「キャンセル待ち」受付

ホームページ：<https://www.ohkurayama-joycon.com/>

予約専用電話：080-8424-5108

---

【2】今後の予定（先取り情報）～「予約申し込み」はまだ受付けておりません

---

■■第35回コンサート■■

◇2018年9月16日（日曜日）

◇出演：山田磨依（ピアノ）

★1990年東京出身。桐朋学園大学卒業後渡仏、2015年パリ地方音楽院最高課程修了。全日本ピアノオーディション第1位、クロード・カーンコンクール（仏）等、国内外で入賞。昨年デビューアルバムをリリース。

◆予約受付開始日：2018年7月16日（月曜日）

---

■■第36回コンサート■■

◇2018年11月18日（日曜日）

◇出演：ルミエ・サクソフォン・カルテット

---

【3】これが津軽三味線だ！

---

民謡に従属的に用いられていた楽器が独立して1つのジャンルを形成するものがあります。『津軽三味線』と『和太鼓』です。

三味線は16世紀後半に日本に伝えられた楽器で、江戸時代に歌舞伎の演奏に用いられ、急速に普及し、その後、日本各地の土着芸能と融合して発達していきました。

津軽三味線が生まれたのは明治初頭の旧金木町（青森県五所川原市）。

当時、津軽地方ではボサマ（坊さま）と言われる男性視覚障害者が門付け芸として家々の前で、三味線を弾いたり唄ったりしてお金や食料をもらっていました。

津軽三味線の始祖と言われる仁太坊は8歳で失明し、苦難の末に「叩き奏法」を生み出して津軽三味線の基礎を築きます。叩き奏法は弟子によって広められ、津軽三味線は唄や踊りの伴奏として民謡の一座に加わり、各地で興業を行うようになります。やがて「前弾き」（今でいうイントロ）という唄に入る前の即興演奏が人気となります。パンチの効いた前弾きが若い人にウケて、「津軽三味線音楽」という器楽ジャンルを作り出していきます。

三味線には太棹、中棹、細棹がありますが、津軽三味線は大きな音が出せる太棹を用い、胴も大きく、絃も普通より太めです。三味線の皮というと猫の皮をイメージしますが、津軽三味線の皮は犬の背の部分を使います。津軽三味線は運指による棹の摩擦や皮の張り替えによる胴の摩擦が激しいため、三味線は消耗品であり、買い換えるものであるというのが常識のようです。専門の演奏家は、数年おきに買い換えるそうです。

津軽三味線の最も大きな特徴は、それぞれの曲に基本となるリズムはあるがアドリブで演奏されることです。いわゆる「正調」がなく、ジャズのように奏者の個性や感情で表現できる柔軟性や創造性のある音楽だといえるのです。

津軽には『津軽五大民謡』と呼ばれる代表的な民謡があります。「津軽じょんがら節」「津軽よされ節」「津軽小原節」「津軽あいや節」「津軽三下がり」です。これらの伴奏ができてこそ“津軽三味線の奏者だ”と言われるのですが、これらの演奏は基本的にすべて即興で行います。独奏や前奏に限らず、唄の伴奏（唄づけ）でも唄い手の即興に応じた演奏をしなければならないため、高度な知識と技術が要求されます。しかし近年では、唄い手の不足などにより、唄づけが廃れつつあり少なくなっています。

演奏法に関しては、豪快に叩くように弾く“叩き三味線”と繊細な“弾き三味線”とに分かれますが、現代の津軽三味線は叩き系の流れを汲むものがほとんどで、小山流も叩き三味線の流派です。

現在では、多くの一流奏者が津軽や函館から東京に移り住んでいて、本場の青森より

東京の方が層が厚いと言われていました。(のん)

---

#### 【4】コンサートのアンケートから

---

★前回のジョイフルコンサート（5周年記念特別演奏会：5月20日公演）

『大倉山カルテットが贈る 入魂のチャイコフスキー  
～大倉山に集う俊英 弦楽四重奏の調べ』は如何でしたか？

アンケートの満足度では、「大変良かった」66%、「良かった」14%、残りは「無回答」の20%で、今回もとても好評でした。

自由記入欄（ご感想など）には、

『男性4人それぞれステキな持ち味で、気持ち良くなりました』『若手演奏家の若々しい響きに感激しました。若手育成のためにもまたこういう企画をしてください』『ウェーベルンがとても良かったです。（弦を弓でつまみ出す音や複雑な響きがおもしろかったです。）また、この4人の演奏を聞いて見たいと思いました』『ぜいたくな時間をすごすことができ喜んでます。とても素晴らしい演奏でした。1つ1つの楽器の音色、演奏者の息づかい、ジョイコンならではの』『すてきな建物で、すばらしい演奏、そしておいしいお紅茶、ほんとうにありがとうございました。ウェーベルン初めてききました。涙が出ました』『いつも楽しみに聴かせていただいております。私達にとっては勿論、若き演奏家にとっても貴重な機会になっている事と思います。時々他のコンサートでここで聴いた演奏家の音を聴くと何だか嬉しくなります』など、好意的メッセージが数多く寄せられました。

また、「5周年おめでとうございます。これからも参加します」「とても素敵な企画だと思います。長くつづけて欲しい」など私たち実行委員会へのエールも頂きました。皆さん、ありがとうございます。アンケート回収数：86（回収率54%）

---

#### 【編集後記】

---

五周年記念特別演奏会で、木製の『ウェルカムボード』が初めて掲出されました。「切り絵ボード」はすでに受付に置かれていますが、これで二種類の『ウェルカムボード』が揃ったこととなります。

『ウェルカムボード』制作のきっかけは、ジョイコンの設立準備段階からともに活動してきた仲間が亡くなったことです。遺志をしっかりと受け継いで盛り立てていく証としたいと実行委員全員で決めていたことです。

終演後、仲間のご家族、大倉山カルテット、実行委員で記念写真を撮り、ジョイコンのホームページ「当日の様子（写真）」にその一部を載せました。（お）

---

※このメールマガジンは、

大倉山ジョイフルコンサートのアンケート等で  
「コンサート情報」を希望された方に配信しております。

#### ■演奏会予約申し込み

次回予約申し込みはこちら

ホームページ：<https://www.ohkurayama-joycon.com/>

予約専用電話：080-8424-5108

#### ■バックナンバー

メールマガジンのバックナンバー（PDFファイル）はこちら

ホームページ：<https://www.ohkurayama-joycon.com/>

#### ■配信停止／アドレス変更

メールマガジンの登録、配信停止、アドレス変更はこちら  
[info@ohkurayama-joycon.com](mailto:info@ohkurayama-joycon.com)

発行：大倉山ジョイフルコンサート実行委員会

Eメール [info@ohkurayama-joycon.com](mailto:info@ohkurayama-joycon.com)

携帯電話 080-8424-5108

URL <https://www.ohkurayama-joycon.com/>

---